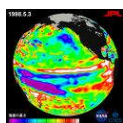


## 「デジタル・ネイティブの衝撃」

拝復

暑い日が続きます。と、時候の挨拶をするところなのでしょうが、かなり変です。九州、四国、関西は未だ梅雨が明けず連日の豪雨が一向に収まりません。一方関東は梅雨明けこそ早く、数日夏らしい天気が続いたのですが、その後は一変して梅雨に逆戻りをしたような天気が続きます。ただ、最近思うのですが、「異常気象」と「地球温暖化」を安易に同じものとして語る事には慎重になるべきだと感じます。エルニ



ーニョが原因と報道され始めましたが、今年エルニーニョが発生していることはとっくに分かっていること。それを日本の天候が異変をきたしている、と、すぐに原因説として取り挙げるのは「後出しジャンケン」のような気がしてなりません。会社の外ではセミが涼しい中一生懸命鳴いています。やはり季節は季節らしくあるのがいいと感じます。

今回のお題は「デジタル・ネイティブの衝撃」と題してお送りします。このタイトルを見て内容の想像がついた方はこの NewsLetter を読んでいただく必要がありません。何のことも分からない皆様、一緒に勉強しましょう。

今回のお題は実は3ヶ月ほど前から書こうとしていました。しかし現実の方が遥かにスピードが早く、その時点での知識ではすぐに陳腐化してしまうそんなスピードをもった現象です。きっかけは、六本木ヒルズ・ライブラリートーク（[小山龍介さん](#)主催）での「デジタルノマド（遊牧民）としての新しいキャリアの可能性」という講演を聞いた事から始まります。この日のゲストは[松村太郎](#)さん。所属は慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員となっていますが、これが本職と言うのではない。IT ジャーナリスト、クリエイ



ティブ・プランナー、クラブ DJ、IT 企業取締役。どれも旧来の概念である本職ではない。かといってどれが遊びでどれがボランティアというわけでもない。

松村氏は慶応大学卒業後、大学院で「ライフ・スタイルとパーソナル・メディア」を学んだ後、普通に就職をしようとしたらしい^^;。なぜか周囲から「そんなのやめた方がいいよ」と言われ考え込んでしまった。確かにこれからは旧来の正社員を中心とした雇用形態のパラダイム・シフトがおきることは間違いない。しかし、その時代にあって自分はどうかあればその新しい世界で生きていくことができるのか。答えは「デジタル・ネイティブ」である強みを徹底的に活かすことだと言う答えにたどり着

く。デジタル・ネイティブ？

氏は 1980 年生まれの 29 歳。マイクロ・ソフトの OS95 が発売されたときには 15 才。後から勉強をして PC に慣れて言ったのではなく、最初からパソコンと携帯電話が当たり前の世代として暮らしている。

と、講演を聞きながら愕然とした。松村さんはファシリテーターの小山さんと対談をしながらその内容



を「iBook」に正確に「入力」していく。その内容はプロジェクターを通して会場に大きく映し出される。対談をやめているのではない。話をしながら全く同時並行で PC の画面を更新していく。二つの作業が全くなんの不自然さもなく進行しているのだ。おそらく松村氏はこの二つの作業を何のストレスもなしにこなしている。それは「ノートをとる」感覚で授業を PC にメモし、同時に教師と議論をする学生の姿が見えた。おそらく、彼は紙と鉛筆で物理的にノートをとったことがないのだ。キータッチは極めて早くなおかつ正確である。ブラインド・タッチのレベルも違うのだ。



私には出来ない(T\_T)。授業（講演）を聞きながらメモを取るのもっぱら紙である。然る後に必要があれば終了後あらためて時間をとって PC に入力をする。ブラインド・タッチは出来るがリアルタイムではかなり怪しい。誤変換やミスタッチに囚われているうちに授業（講演）はどんどん先に進んでしまう。二度手間ではあるが、これしか方法がない。

少し話の流れがそれた。松村氏は「デジタル・ネイティブ」であることを強みにフリーランスの仕事をしている。そうしたうちに同じような年代から次々に仕事が舞い込むようになる。おそらく氏と同様に「デジタル・ネイティブ」世代だ。現在は慶応で授業を行う傍ら 5 つのわらじを履いていると言う。ブログは 2002 年から開始しており常にデジタル・メディアの最先端にいる。



当然氏の講義を取っている学生達は同様に「デジタル・ネイティブ」であり、ブログなど当たり前の世界である。公式な連絡は「FACE BOOK」を通じて行う。氏の実験的な授業では「Twitter」を使っているらしい（残念ながら私には理解が出来なかった）。

さて、ここまで読んで内容がよく分からない方は私も含めて「デジタル・ネイティブ」ではない。こう考えていただくと分かりやすい。英会話でネイティブの発音と日本人が使う発音はどうしても違う。言語

の場合は 6 歳までに接していないと完全なネイティブとは違いがでてきてしまうらしい。麻生首相の英語でのスピーチは私にとっては分かりやすい。日本で受けた英語の授業どおりに文法を使い、日本語



の発音であるから(T\_T)。実に格好悪いのである。

デジタルでも同様のことがおき始めている。

また、仕事のプロセスそのものが違う。**デスクトップ PC とノート PC と iPhone は常に同期を取っており**いつでもどこでも同じ情報を即座に呼び出すことが可能だ。iPhone から変更を加えれば同時に他の PC に変更が加えられる。極めて効率がよい。ある調査によると**仕事をしているうちの 20%程度は何かを探している時間らしい**。彼らにはこれがない。また、情報共有ソフトを通じ、プロ



ジェクトメンバーと同じ情報を持つ。しかも **i-Phone** の出現によってそれがますます加速度がついているらしい。数万と言うアプリケーションが誕生している。

また新しいメディアが生まれようとしている。最近のデジタル・マーケティングの世界では「Twitter」と言う単語が出てこない日はない。私も登録をしてメンバーになってはいるのだが、何のために誰が使うのか、さっぱり分からない(T\_T)。一応概念だけご説明するが、もちろんネット上での話である。



140 文字限定の、なんとというか、よく分からないのだ。



助けて Wikipedia ! (笑)

「Twitter は**ブログとチャット**を足して 2 で割ったようなシステムを持つ。各ユーザーは自分専用のサイト(ホーム)を持ち、「What are you doing?(いまなにしてる?)」の質問に対して 140 文字以内でつぶやきを投稿する。つぶやき一つ一つはブログのエントリに相当し、つぶやきごとに固有の URL が割り当てられる。ホームには自分のつぶやき以外に、あらかじめ登録した知人など他者のつぶやきもほぼリアルタイムに表示される。このつぶやきの一覧を「**タイムライン**」と呼ぶ。例えば「ビールが飲みたい」というつぶやきに対し、それを見て賛同した知人が応答することで、メールや IM に比べて「ゆるい」コミュニケーションが生まれる。つぶやきの投稿や閲覧はサイト上で行うほか、便利な機能を備えた各種のクライアントソフト、クライアントウェブサービスが公開されており、それらを利用して行うことも出来る。」

よく分かりませんよね^^;。

偶然ですが今朝の IT ニュースを見たら勝間和代さんが、「Twitter」の可能性について言及している記事を見つけました(RSS リーダーのおかげです)。[こちら](#)をご覧ください。

「Twitter」は最初、何をしているのか分かりにくい、ある一瞬で「ミラクルメディア」に変身をするらしい。今回の講演会のファシリテーターをしている小山龍介さんもそんな「デジタル・ネイティブ」の一人です。



氏の最新の「整理 HACKS」にネイティブの情報整理術が明かされている（東洋経済社 1575 円）。新たな時代の情報整理が必要な理由を下記のように述べている。

「なぜこれまでの整理方法では追いつかなくなってきたのか。その原因は携帯電話やインターネットの普及にあります。これまでの整理のやり方では想定していなかった早いスピードで情報が行き来するようになり、整理し切れなくなったからです」としている。

（順不動）これからの時代に必要なツール

- ・ **プリントアウトは容赦なく捨てる（必要な書類はスキャナーを使って PC に）**
- ・ **Gmail アプリによる打ち合わせ資料の共有（時系列管理）検索機能の利用**
- ・ **「Sugar Sync」でどこでもオフィス 会社 PC、ノート PC、iPhone**
- ・ **情報収集には「Technorati」、「はてなブックマーク」（ライフハック）、RSS リーダー**
- ・ **「Twitter」でライフログを などなど**

書類そのものはデータとして集約しつつ、デジタル・データにすることによってアクセスできる場所を分散させる。あ～、頭が痛い(T\_T)。

[友人のブログ](#)にある 20 代の男性がつぶやき (Twitter)、

「上の世代の IT リテラシーの低さにはデジタル・ネイティブとしても閉口させられる。どうやってボトムアップを図っていけばいいのかよく分からない。そもそも関与すべきかどうかなのかも。」(20 代男性)

もう見捨てられかけていますね (笑)。いや、笑っている場合ではないのかもしれませんが。

いかがでしたでしょうか。私もかじってはいますが、全然使いこなせていない。そのために分かりにくいものになったかもしれません。もしそうであれば、筆者の責任ですm(\_ \_)m。

まだまだ暑さはこれからが本番でしょう。お体には気を付けて、お仕事もよろしく願います (笑)。

次号は夏休みをいただきます。See you on September !

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3 F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

<http://r-research.co.jp/> ブログ、ほぼ、毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>